ハンドマイク街頭演説原稿例　抜け穴と改悪の規制法改定強行

二〇二四年六月二十日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　連日大きく報道されていた政治資金規制法改定ですが、六月十九日の参議院本会議で、公明党と日本維新の会との合意によって修正された自民党の改定案が、自民党と公明党などの賛成多数で可決、成立しました。自民党はみずからが引き起こした違法な裏金づくり問題の真相解明には最後まで背を向ける一方で、抜け穴だらけの制度改悪案を「数の力」で押し通してしまいました。民主政治を破壊する許されない暴挙だと言わざるを得ません。

　自民党の改定案の最大の問題点は、政治改革の核心である企業・団体献金の禁止に一切手をつけていないことです。日本共産党は企業・団体献金の全面禁止法案を提出し、国会審議では企業・団体献金によって巨大企業や業界団体が求める予算編成や制度変更が行われた事実を示し、企業・団体献金のワイロ性を明らかにしました。岸田総理や自民党の法案提出者は日本共産党の追及に、まともに反論できませんでした。

　裏金の原資となった政治資金パーティー券購入は、企業・団体献金の抜け道として使われてきました。自民党案はパーティー券購入者の氏名の公開基準を今の「２０万円超」から「５万円超」に引き下げたことをもって「透明性の確保」だと言います。ですが、パーティーを何度も開いたり、おおぜいの企業幹部で分担して買ったりすれば、今まで通り名前がおおやけにされずにすみます。これでは何も変わらないのではないでしょうか。

　また、政党本部から党幹部に渡されてきた「政策活動費」は、政治資金規正法に規定のない、支出の実態を隠すための脱法的なものです。自民党案はこの脱法的な行為である「政策活動費」を、逆に規正法に新たに書き込み合法化したうえ、「政策活動費」の領収書や明細書などの公開は十年後としてしまいました。政治資金規正法違反の時効は５年間なので、公開後に不正が発覚しても罪に問うことができません。なんのための公開なのでしょうか。

　政治改革の名の下に制度の抜け穴を残し、制度改悪を盛り込もうとすること自体が、政治資金を「国民の不断の監視と批判の下におく」という政治資金規正法の理念に真っ向から反するものです。こんな改定案を数の力で成立させるなど、国民の政治不信をいっそう広げるものであり、断じて許されないことです。

　みなさん、いま求められている政治改革は、ワイロ性の強い企業や業界団体からの政治献金を全面的に禁止することではないでしょうか。日本共産党は参議院に「企業・団体献金全面禁止法案」と「政党助成法廃止法案」を提出して国民の求める政治改革を迫り、論戦を通じて自民案の抜け穴・改悪ぶりを明らかにしました。真の政治改革実現の願い、裏金問題の全容解明を求める思いを、どうか日本共産党にお寄せください。

　自民党の裏金問題を最初に取り上げた、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）